

若い世代のアイデアで新ビジネスを創出する 固定観念を超えたサービカンパニーを目指す

東邦運輸は1969年の創業時から、「NOと言わない」顧客第一主義を貫く総合物流カンパニーだ。ほぼ半世紀に渡る歴史と安定成長の背景には、時代に即した新サービスを提供し続ける企業風土がある。代表の中島氏に、同社の経営ポリシーや若い人材への期待などを聞いた。

社員の夢実現を強力バックアップ

——事業内容を教えてください。

当社は1969年の創業以来、お客さまの「困った」に応える総合物流カンパニーとして幅広いサービスを提供しています。単に物を運ぶだけでなく、お客さまの「引越後の部屋をキレイにした」「機密データを処分したい」「不用品を売りたい」「荷物を預けたい」といったご要望にもきめ細かく対応。また、「明日までにトラック10台分の荷物を届けてほしい」「大型の動物を運んでほしい」など、突発的だったり特殊な依頼にもベストな形で応えながら、サービス内容の充実に取り組んできました。

——御社のポリシーや強みを教えてください。

「他にはないことをやる」「NOと言わない」「型にはめない」というのが、当社のポリシーです。お客さまが困った時にこそ力になれる、物流の「なんでもカン

パニー」でありたいと思っています。

当社では、あえて専門分野は持ちませぬ。特定分野にこだわらず、どんな依頼にも柔軟に対応するためです。「物流Ⅱ運ぶ」という固定観念を超えた顧客第一主義のサービスを提供することに、当社の存在価値があります。

こうしたオンラインワンを目指し続ける経営姿勢が、お客さまの信頼を獲得することにつながり、当社の安定成長の要因になっています。

——人材観を聞かせてください。

当社にはチャレンジ精神にあふれる企業風土が根づいており、若い社員が活躍できるチャンスが豊富にあります。私自身も専務時代の20代の頃、先代に任されて物流システムの大改革を実現させました。先代がそうだったように、経営者の私から若い世代の社員に細かいことは言いません。若い世代ならではのセンスで、当社の物流ビジネスに新たな価値を創出してほしいと期待しています。

とにかく、型にとらわれない自由な発想で、自分のやりたいことをどんどんぶつけてほしい。たとえば、海外で活躍したいと思うなら、現地の物流事情や海外展開のメリットについて情報収集し、積極的に企画を提案してほしい。正当な根拠と本人の情熱が認められれば、バックアップを惜しみません。突拍子もないアイデアも大歓迎です。時代に合ったフレッシュなアイデアを経営に取り入れ、社員のやりたいことを実現させる会社であ

り続けたいですね。

——今後の目標を教えてください。

具体的な数字や目標を立てると、それだけにとらわれて視野が狭くなってしまうと思うんです。時代が刻々と変化する中で、型通りのことを繰り返していても進化はしません。目標のために頑張るのではなく、新たな取組を日々積み重ね

ることで売上を伸ばし、利益を出す。それが会社の責任であり、そうすることで社員の皆もハッピーになれるのです。約束された成功は存在しません。懸命になってチャレンジし続けるからこそ、会社も社員も成長できるのです。一度限りの人生、縁があつて出会ったのですから、皆でハッピーになれるように仕事を楽しみたい。それが私のモットーです。



東邦運輸 代表取締役社長 中島 秀治

なかじま ひではる

1968年生まれ。1986年、株式会社東邦運輸へ入社。1991年、専務に就任し、物流システムの大改革を成功させる。2011年、代表取締役社長に就任。「NO」と言わない顧客第一主義を貫く。